

2014 年度秋 Semester 履修科目登録ガイダンス【新入生】

2014 年 9 月 アカデミック・オフィス

※ページは、2014 年度学部履修ハンドブックの参照ページです。

1. 卒業するためには p.5

1) 在学期間が 4 年以上であること ※早期卒業プログラム参加、編入学の場合は、在学必要年限が異なる ※4 回生終了時点で卒業不合格 →5 回生、6 回生… ただし 8 回生を超えて在学することはできない
2) 卒業に必要な単位数を修得すること 合計 124 単位以上 履修カリキュラムに基づき、科目区分毎に定められた単位数を満たすこと

単位とは

日本の大学設置基準に基づき、学習時間を数値であらわしたものの
各科目の修得に必要な学習時間(予習、復習を含む)をもとに決定される
(例)言語科目「英語初級 A」=4 単位 ←授業回数 60 回+予習・復習
講義科目「心理学入門」=2 単位 ←授業回数 15 回+予習・復習

2. 学年暦と時間割 p.6-7

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
春 Semester						秋 Semester					
第 1 クォーター		第 2 クォーター		夏セッション		第 1 クォーター		第 2 クォーター		冬セッション	

- * 言語科目: Semester 開講 × 週 4 回(4 単位)、 Semester 開講 × 週 2 回(2 単位)
- * 講義科目: Semester 開講 × 週 1 回(2 単位)、 クォーター開講 × 週 2 回(2 単位)
- * 演習科目: Semester 開講 × 週 1 回(2 単位)

時限	授業時間	月	火	水	木	金
1 限	8:45 - 10:20	A(1)	F(1)	K(1)	L(1)	F(2)
2 限	10:35 - 12:10	A(2)	G(1)	K(2)	L(2)	G(2)
3 限	12:25 - 14:00	B(1)	H(1)		B(2)	H(2)
4 限	14:15 - 15:50	C(1)	I(1)		C(2)	M(1)
5 限	16:05 - 17:40	D(1)	I(2)		D(2)	M(2)
6 限	17:55 - 19:30	E(1)	J(1)		E(2)	J(2)

- * 連続時間割で昼休みはありません。ただし、補講日とセッションは異なります。
- * 週 2 回授業がある場合:
例 A) 時限連続 例 B) 異なる曜日で同じ時限の組み合わせ

3. カリキュラム APS:p.16-18 APM:p.19-23

2014 年度秋 Semester 新入学生適用カリキュラム: 2011 年度カリキュラム

入学時点のカリキュラムが卒業まで適用されます。ただし、休学した場合は、変更になることがあります。

カリキュラムとは

大学における教育目標を達成するために、入学年・学部・入学基準言語基準等によって定められる履修の枠組みです。

※第 9 Semester 以上の学生は 2006 年度カリキュラムが適用されています。

日本語基準学生: 入学時のプレイスメントテストにより英語カリキュラムを決定します。

◆英語スタンダードトラック

分野		必要単位数	計
共通教育科目	英語	24 単位	124 単位以上
		(他 16 単位以上) 40 単位以上	
専門教育科目		62 単位以上	
自由選択		22 単位以上	

○日本語基準国内学生: 英語で開講される教養科目もしくは専門科目を 20 単位以上修得すること
ただし、「ブリッジプログラム※」は上限 6 単位までしか単位修得できません。

○英語で開講される教養科目もしくは専門科目を履修するためには「英語中級 A・B」の単位修得、「ブリッジプログラム※」を履修するためには「英語準中級 A・B」の単位修得が必要です。

※「ブリッジプログラム」は、幅広い教養科目を英語力強化を行いながら学ぶ科目です。「英語準中級 A・B」を修了した学生が、本格的な英語開講科目を履修するための第一段階の科目として設定されています。

◆英語アドバンストラック

分野		必要単位数	計
共通教育科目	英語	12 単位	124 単位以上
		(他 28 単位以上) 40 単位以上	
専門教育科目		62 単位以上	
自由選択		22 単位以上	

○日本語基準国内学生: 英語で開講される教養科目もしくは専門科目を 20 単位以上修得すること
ただし、「ブリッジプログラム」は履修できません。

○英語で開講される教養科目もしくは専門科目を履修するための言語能力の条件はありません。

英語基準学生

分野		必要単位数	計
共通教育科目	日本語	16 単位	124 単位以上
		(他 24 単位以上) 40 単位以上	
専門教育科目		62 単位以上	
自由選択		22 単位以上	

4. 科目の履修 p.89-101

単位修得までの流れ 履修科目登録 → 科目受講 → 成績評価 → 単位修得

履修科目登録とは	履修科目登録とは、みなさんが受講しようとする授業科目を登録する手続きで、その意思表示をすることです。履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、授業を受けること、単位の修得および卒業には欠かすことのできないものです。履修科目登録をした科目の授業には必ず出席してください。
シラバスとは	授業のねらい、到達目標、成績評価方法など受講に関して必要な情報を盛り込んだ講義概要のこと。シラバスはキャンパス・ターミナルで閲覧可能です。履修科目登録の前に必ずシラバスを確認してください。テキストは生協で購入することができます。

科目のグレード番号: 全ての科目にグレード番号が決められています。

100 番台	1 回生向け	入門	300 番台	3 回生向け	応用
200 番台	2 回生向け	基礎	400 番台	4 回生向け	展開

5. 第 1 セメスターでの履修科目登録 上限 18 単位

履修科目登録単位数は上限の範囲で、各自で決めることができます。下限はありませんが、4 年間の履修計画、奨学金受給の条件等を考慮して履修してください。1 セメスター学生には上限単位数まで登録することを推奨しています。

※履修科目登録単位数上限 **p.89-90**

回生	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生	
セメ回生	1 セメ	2 セメ	3 セメ	4 セメ	5 セメ	6 セメ	7 セメ	8 セメ
通常	18	18	20	20	20	20	24	24
早期卒業	-	-	24	24	24	24	24	24

1) 言語科目(必修) **p.24-32** 以下()内は単位数

カリキュラム	言語教育科目	単位数
日本語基準 英語スタンダードトラック	英語初級 A(4)・B(2)→英語準中級 A(4)・B(2)→英語中級 A(4)・B(2)→英語準上級 A(4)・B(2)	24 単位
日本語基準 英語アドバンストラック	英語上級 1A(4)・B(2)→英語上級 2A(4)・B(2)	12 単位
英語基準	日本語初級 I (4)・II (4)・III (4)→日本語中級(4)	16 単位

入学時のプレイスメントテストの結果によって、適用カリキュラムおよび履修開始レベルが決まります。
プレイスメントテスト結果の確認方法: キャンパス・ターミナル→「Academic」→「Campusmate」→「成績照会」
成績評価に「E」(免除)が与えられた科目は履修免除となり、次のレベルの科目から履修開始となります。
科目の履修科目登録は大学が行い、クラスも大学が指定します。

2) 初年次教育科目

A:「新入生ワークショップ I・II」

2014年度秋入学者は第1セメスター時に自動登録されます。最終成績が合格・不合格に関わらず、一度しか履修科目登録できません。

「新入生ワークショップ I」(2 単位)

言語基準別のクラス。大学での学習において必須となる文献の調査方法やレポートの書き方、引用の方法などの基礎など学習技法の修得を図ります。

「新入生ワークショップ II」(2 単位)

言語基準混合のクラス。多文化環境におけるグループワークを経験し、今後、プロジェクト学習を行う上で土台となる知識やスキルの習得を図ります。

B:「APU 入門」 ※登録は選択制、履修を希望する場合は各自で登録。

1 回生限定科目、入学基準言語と同じ言語のクラスのみ登録可能です。

APU の理念と歴史、大学生活全般への適応や大学への帰属意識の形成を獲得目標とします。受講者の学習意欲や目的意識の向上、主体的・能動的学習スタイルの形成など「学びの転換」をはかるとともにラーニング・コミュニティの形成を図ります。

3) 国際経営学部 履修科目登録必須科目 **※国際経営学部のみ**

A:「経営学入門」 第1セメスターで、入学基準言語と同じ開講言語クラスに自動登録されます。

B:「ビジネス数学」 第2セメスターで、入学基準言語と同じ開講言語クラスに自動登録されます。入学時の数学プレイスメントテストの結果により、数学の履修開始レベルを以下の3つに分けます。履修科目登録 B 期間前に個人伝言にて①から③のどれに該当するか連絡をします。

- ①第1セメスター時に「基礎数学」の履修を強く推奨します。「基礎数学」の履修は必須ではありませんが、第2セメスターで「ビジネス数学」を学修するための数学の基礎学力をつける必要があります。
- ②第2セメスター時に「ビジネス数学」を大学が登録します。
- ③「ビジネス数学」を履修する必要はありません(履修免除)。希望の有無に関わらず、「ビジネス数学」の履修登録はできません。

◆履修科目登録の日程、教室

・履修科目登録はWEB上のCampusmateから各自で行ってください。履修科目登録は学外の端末からも可能ですが、ネットワーク接続状況によりアクセスに時間がかかる場合がありますので、学内の端末を利用することをすすめます(AP ハウスをのぞく)。

※Campusmate は毎日 3:00am.-5:00am.(日本時間)は一切使用できません

- ・履修可能な科目のみがWEB上から選択できるように設定されています。
- ・科目毎に定員が定められており、定員に達した場合は登録できません。

* 在学生対象の履修科目登録 A 期間は終了(9/22～9/25)

期間	対象学生	日時	注意点
B 期間	新入生	10月2日(木) 10:00 ～ 3日(金) 12:00	全科目の登録が可能 (ただし他学部受講は2回生から)
		教室 IPS 2-6	
修正期間①	全学生	10月16日(木) 10:00 ～ 17日(金) 10:00	セメスター・第1クォーター開講科目: キャンセルのみ可能 第2クォーター・セッション開講科目: 追加登録・キャンセル可能
修正期間②	全学生	12月11日(木) 10:00 ～ 12日(金) 10:00	第2クォーター開講科目: キャンセルのみ可能 セッション開講科目: 追加登録・キャンセル可能

※スケジュールは24時間表記です。12:00は正午を示しますので、開始・終了時刻に注意して下さい。

6. 授業出席 p.9-11

履修科目登録をした授業には必ず出席してください。学校保健安全法に定められた法定感染症の場合のみ欠席扱いとはしません。

○ 言語科目、初年次教育科目(「新入生ワークショップ I・II」「APU 入門」):

全授業回数の3/4以上出席することが必要です。出席回数がこれに満たない場合は、自動的に不合格(F)となります。出席をとる際にクラスにいない場合は出席とみなしません。ただし、法定感染症による欠席、大学が認めた欠席(学部履修ハンドブック参照)の場合は、欠席扱いとしません。

○ 講義科目:

病気などの理由でやむを得ず欠席する場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。欠席をどのように配慮するかは担当教員の個別判断によります。なお、病気などの理由で欠席が1週間以上となる場合もしくは忌引きで欠席する場合は、すみやかにアカデミック・オフィスに申し出てください。

7. 成績 p.108-112

成績評価はセメスター毎に発表されます。成績評価は全て成績証明書、成績通知書に記載されます。

評価	GPA ポイント	到達度	単位修得
A+	4	90%以上	合格
A	3	80～89%	
B	2	70～79%	
C	1	60～69%	
F	0	59%以下	不合格

評価	評価の意味	単位修得
P	合格	あり
T	認定	
E	免除	なし
R	同一科目再履修	

GPA とは

Grade Point Average 満点 4.0

* 交換留学審査、早期卒業審査、履修科目登録優先、奨学金審査などに使用
通算 GPA: 入学時から卒業時まで(成績証明書に記載)

当該 GPA: 当該セメスターのみ

8. 単位認定の申請 p.143-144

APU 入学前の学修として、以下の場合は単位授与の対象となります。

・他の大学、短期大学等で履修した単位 ・APU で「科目等履修生」として履修した単位

申請時期: 入学直後の申請のみ有効 締切日: 2014年12月12日(金) 16:30

オフィス	対応内容	連絡先
アカデミック・オフィス (B 棟 1 階) 窓口時間: 平日 10:00～16:30 火のみ 11:30～16:30	カリキュラム、履修科目登録、授業、 試験・レポート、成績、TOEFL・TOEIC 試験 海外・国内交換留学、アクティブ・ラーニング	TEL: 0977-78-1122 FAX: 0977-78-1123 Email: acsubmit@apu.ac.jp
	キャンパス・ターミナル アカデミック・オフィス HP	http://p1.apu.ac.jp/campusp/service/index.jsp http://www.apu.ac.jp/academic/?lang=japanese